

もみじ

—広島県山岳・スポーツライミング連盟会報—



一般社団法人 広島県山岳・スポーツライミング連盟

〒733-0011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17

電話・FAX (082) 296-5597

E-Mail : hgakuren@lime.ocn.ne.jp

URL : <http://hiroshima-gakuren.or.jp>

郵便振替口座 01380-6-37958

題字デザイン 今村みずほ

編集 西部伸也

本号内容

1. 登山部顧問安全登山講習会/研修会報告感想文
2. 『亀井且博氏 追悼集』のご案内
3. 岳連短信 (寄贈御礼、ほか)

1. 登山部顧問安全登山講習会/研修会報告感想文

この講習会/研修会 (12/10・11 開催) については前号で報告していますが、参加者の感想文が寄せられましたので紹介します。

『吊りごろつられごろ～登山部顧問等安全登山顧問研修会を終えて』

(広島学院高等学校 登山部副顧問 小林 晃大)

「吊られ上手だね、吊りごろ吊られごろだね」

母校の恩師の声が聞こえる。私の目の前で、先輩の先生がロープで吊られ、宙づりになっている様子を見せられている。私は何を見ているのだろうか。登山部顧問等安全講習会の二日目のロープ講習を受けている際、私はこのように思っていた。

教師生活一年、初めての部活の顧問で全く経験のない登山部に私は配属された。その時の正直な気持ちは、自分に何が出来るのだろうかということであった。全く登山の経験もない私は何をすればいいかわからず、日々不安だけが募っていった。そして、部活動が始まってからは、矢のごとく登る生徒についていくだけで精一杯であった。そのような時、登山部顧問等安全登山講習会に参加できる機会を得た。それは、登山部顧問として何が必要なのかを学ぶことができる絶好の機会であった。

講習会は二日間に分けて開かれた。

一日目の講習会、座談会形式で進められ、冬山登山における安全講習がまず行われた。ぶ厚い資料が配られたことに面食らったが、しっかり安全管理をしなければならない現れであろう。それだけ冬山は危険で、大変であることを実感した。続いて、登山部の指導について各校が気を付けていることについて、情報交換が行われた。山にもっていく良い救急道具や、生徒とどのように山行するのが良いかなど、非常に参考になった情報交換会であった。冬山登山講習に引き続き、安全管理の大切さについて身に染みた。その中である学校の顧問が語った中に、「うちの学校は、安全とチャレンジを二つの柱に生徒に取り組みさせています。そのためには、親御さんの協力が必要です。」ということがあった。保護者は、登山部でどのような活動としているのかわからず、入部した当初、泥だらけで帰ってきててもなぜそうなったのか分からない状態だったという。その学校は、活動報告書を配り、定期的に保護者会を開き、顧問との結びつき、保護者同士の結びつきを深めている。その結果、登山部の活動に理解を示してくれるようになり、協力的になり大会の応援にもいらっしゃるようになったそうだ。保護者と密接にやり取りをし、良好な関係を築くことは、必要不可欠であると感じた。

二日目、五日市高校にて、安全ロープ講習を受けた。ロープを使つての降下や登攀の際に、円滑かつ安全性を高めるために欠かせないスリングの使い方を学んだ。ロープは、沢登りなどの命綱にもなる。その際、ロープとカラビナだけで、人を吊るすという技術を講

師の方が見せてくれた。それが冒頭に書いた場面である。そういった技術も安全に登山するうえで欠かせない技術であることを知った。

この講習会を通じて、他校の皆さんも安全管理に十分気を付けていることがよく分かった。登山は、危険と隣り合わせのスポーツである。そのような中でも、チャレンジする志と登山の楽しさを生徒に味わってもらうために、私も安全に気を付けていきたいと思う。

このような貴重な機会をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。



(写真は再掲)

2. 『亀井且博氏 追悼集』のご案内

本年 1 月 10 日に肺がんのために逝去された当連盟副会長（競技部・国際部担当）の亀井且博氏（74 歳）を偲ぶ追悼集がこのたび発行されます。（3 月下旬の予定）

3. 岳連短信

1. 寄贈御礼

三原山の会『筆影』No. 503・504（2・3月号）

福山山岳会『会報』2月号・3月号

広島山岳会『山嶺』第 878・879 号（2・3月）

広島山稜会『峠通信』第 752 号（2月）

広島やまびこ会『やまびこ』785

『中信高校山岳部かわらばん』702・703（2/10）、704（3/8）、705（3/12）

京都府岳連報『京ノ山、知ル。』（2021 秋冬号）

2. 諸行事の中止ならびに第 29 回比婆山国際スカイランの実施

もみじ前号で案内した次の各行事は、いずれもコロナ感染拡大防止のため中止となりました。

- ・2/5～6 県高体連登山部新人大会
- ・2/22～27 第 4 回連盟写真展
- ・2/23 第 55 回県民ハイキング
- ・2/26～27 冬山技術研修会

また、3/20 に予定されている第 56 回県民ハイキング（宗箇山）も中止です。

5/29 の第 29 回比婆山国際スカイランについては実施の方向で準備が進められており、参加者募集も始まっています。（参加申込締切は 4/17）

会員の皆様には、大会運営ならびに事前準備へのご協力をよろしくお願いします。

編集部より

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想など気軽にお寄せください。寄稿の場合は所属、役職を記入下さい。編集の都合で一部手直しすることがあります。ご了承ください。

○会員団体会報発行されたら岳連事務局まで恵送下さい。随時紹介します。

○この会報はメール配信しています。配信ご希望の方は岳連事務局までメールアドレスをお知らせ下さい